

体温調節、温度受容研究会

◇日 時◇ 2007年1月11日(木)12時20分 ~ 1月12日(金)12時45分

◇場 所◇ 自然科学研究機構 岡崎カンファレンスセンター 小会議室

◇提案代表者◇ 永島計 (早稲田大学人間科学学術院)

◇所内対応者◇ 富永真琴(岡崎統合バイオサイエンスセンター 細胞生理)

11日

	スピーカー	タイトル
12:20	永島計 早稲田大学 人間科学学術院	はじめのあいさつ
12:30	近藤徳彦 神戸大学発達科学部	「運動に関わる要因がヒトの熱放散反応に及ぼす影響」
13:00	大坂寿雅 国立健康・栄養研究所	「視床下部視索前野 GABA 感受性機構の熱産生における役割」
13:30	中村真由美 早稲田大学 スポーツ科学研究科	「温度感覚、温熱的・不快感の部位差」
14:00	上條義一郎 信州大学 大学院医学研究科	「暑熱負荷時の皮膚交感神経活動発火頻度(BF)の増加は低血液量により抑制されない」
14:30	片桐秀樹 東北大学大学院 医学系研究科附属創生応用医学研究センター	「臓器間情報ネットワークによる糖・エネルギー代謝の協調的調節」
15:00-15:30	休 憩	
15:30	後藤正樹 信州大学 大学院医科学研究科	「持久性トレーニング直後の蛋白質・糖質サプリメント摂取が体温調節能に与える影響」
16:00	杉本幸彦 京都大学大学院 薬学研究科	「プロスタグランジン E2は視索前野の GABA-A 受容体発現を低下させる」
16:30	青木健 日本大学 医学部 社会医学講座	「ヒトにおける体温リズムと体温調節」
17:00	田村豊 福山大学 薬学部 薬理学研究室	「ハムスターの冬眠時体温を制御する中枢神経機構」
17:30	宇野忠 山梨県環境科学研究所 生気象学研究室	「環境温度変化曝露によるラットLPS発熱反応への影響」

18:30 懇 親 会

12日

8:45	曾我部隆彰 自然科学研究機構 岡崎統合バイオサイエンスセンター	「表皮ケラチノサイトが温度刺激を受容して感覚神経に温度情報を伝達するメカニズム」
9:15	吉岡芳親 岩手医科大学 先端医療研究センター	「磁気共鳴スペクトロスコピーによる脳温計測」
9:45	山仲勇二郎 北海道大学大学院 医学研究科	「体温リズムの生物時計による内因性支配と非光同調因子による外因性修飾作用」

10:15-10:30

休 憩

- | | | | |
|-------|-------------|------------------------------|---|
| 10:30 | 小林茂夫 | 京都大学大学院 情報学研究科 | 「冷刺激が誘発するゼブラフィッシュ稚魚のふるえー脊椎動物における恒温性の起源か？」 |
| 11:00 | 細川浩 | 京都大学大学院 情報学研究科 | 「温度受容チャンネル TRPM8 の分布とその体温調節に関する役割」 |
| 11:30 | 細野剛良 | 大阪電気通信大学
医療福祉工学科 | 「新しい行動性体温調節動物実験装置」 |
| 12:00 | 松村潔 | 大阪工業大学 情報科学部 | 「アラキドン酸発熱の意外なしくみ」 |
| 12:30 | 富永真琴 | 自然科学研究機構
岡崎統合バイオサイエンスセンター | おわりのあいさつ |